



『ニッポンの人材～育成と就業の現場』vol.15

福祉・介護を 仕事にする



日本は世界一の長寿国ですが、世界一幸せな長生きができる国かと問われたら、どう答えますか？

年金はどれくらいもらえるのだろうか？ 誰が介護してくれるのだろうか？

様々な心配から、日本では死ぬ時に一番貯金が多いといわれます。

かたや欧米では、死ぬまでにお金をすべて使い切るともいわれます。

日本は社会保障や社会福祉の安心感が足りない。そう指摘する声があるのです。

さらに今、日本の福祉・介護に関して、様々な問題も持ち上がっています。

高齢者の所在不明、孤独死、虐待、DV、生活保護、ホームレス……

急激に襲ってきた大不況により、セーフティネットの網目から抜け落ちる事例が後を絶たないのです。

しかし、何とか持ちこたえている。それが日本の福祉・介護の現状ではないでしょうか。

コンクリートよりも社会福祉に力を入れようとする政権に変わったこと、

そして何より、多くの心ある人材がこの国の福祉・介護を支えています(それは本特集第3章でご確認ください)。

しかし、このままでは不安です。

さらなる高齢化、予測し得ない社会変化に対応する人材を質、量ともにこれからどう育てていくか。

この特集をきっかけにして考えていただければ幸いです。

1章 福祉・介護の現場は今

2章 仕事・資格・進学ガイド

- I 相談援助の仕事
- II 介護の仕事
- III 保健医療の仕事

3章 福祉・介護の仕事14

医療ソーシャルワーカー／精神保健福祉相談員／生活保護ケースワーカー／児童福祉司
独立型社会福祉士／ケアマネジャー／介護福祉士 ホームヘルパー・サービス提供責任者／看護師
理学療法士／音楽療法士／義肢装具士／車椅子開発者／福祉工学研究者